



日本半導体エンジニアリングネットワーク協会

〔Japan Semiconductor Engineering Network Association (JSENA)〕を設立

7月1日、半導体デバイスメーカー、装置メーカー、装置メンテナンス会社等の15社は、各社のネットワークの構築、結束、相互交流を目的とした日本半導体エンジニアリングネットワーク協会〔Japan Semiconductor Engineering Network Association (JSENA)〕(会長 古木 善之 〒533-0032 大阪市東淀川区淡路5-19-26-2F TEL: 06-6370-6530 以下、JSENA)を設立する。

JSENAは半導体装置のエンジニアリング・サポート会社(以下、サードパーティ)の業界内における認知度の向上、表舞台への進出を目的としている。

ここ2000年以降日本半導体産業は過去にない長期不況に見舞われた。この不況で日本半導体デバイスメーカーはコスト削減に対し以前に増して神経を尖らせるようになってきている。欧米ではサードパーティをオープンにする事でエンジニアリングコストの競争を促進させてきた歴史がある。また、韓国、台湾、シンガポール等のアジア諸国ではコスト削減の実現の為に、即断即実行と時間での優位性を打ち出してきた。

日本の半導体デバイスメーカーは時間、技術、コストといった側面において世界レベルでの競争力が必要な時代である事を体感した。そのような日本半導体デバイスメーカーの強い後押しと要求という背景からJSENAは発足した。

サードパーティの進出には、数多くの装置メーカーの声も反映している。これは2年近く不況から、半導体装置メーカーの多くは新規装置の売上が減少、これに伴い人員削減を行った経緯がある。この結果、装置メーカーからも“年式の古いモデルの技術サポートをアウトソーシングしたい”という声が挙がっている。

JSENAはサードパーティ間の連携による装置メンテナンス、解体、改造、移設等の業務が中心。協会を拡大していく流れの中で半導体中古装置市場の統計の算出も活動の視野に入れている。従来から、半導体業界で求められている数値ではあるが、新規装置と比較して数字の算出が困難な分野でもある。その他の分野でも、協調を基本コンセプトとして、基礎技術の共同研究や新規市場の創造を検討中。

発起会社は地方別では、関東7社、関西5社、九州2社、四国、中国各1社の15社。“多種多様な企業間交流を行う”というコンセプトから多くの企業の参加を呼びかけている。募集会員は正会員と賛助会員の2種類があり、正会員は装置メンテナンス会社、人材派遣会社、パーツメーカー。賛助会員はデバイスメーカー、装置メーカー、商社、メディア。

問い合わせ先

日本半導体エンジニアネットワーク協会

TEL: 06-6370-6530

FAX: 06-6370-6640

URL: <http://www.jsena.org>

Mail: info@jsena.org